

## 会員の広場



### 世界遺産と昆虫と山野草

外山 興三（東京）

変わった取り合わせだが、私の趣味である。仕事柄海外が多いので、近くに世界遺産があれば立ち寄ってきた。世界遺産を見に海外に出ることもある。最近ではエルサレムに行ってきた。三大宗教の聖地で仏教徒（あまり熱心ではないが）の私には関係ないが、歴史的

な場所を見ることができた。数えてみたら、日本を除くと、これまで90箇所以上世界遺産を訪問してきた。私は自然が好きなので自然遺産の方が好きだが、文化遺産も素晴らしい。行く前にその歴史を勉強するのも楽しい。複合遺産も多い。これまでで特に印象深いのは、自然遺産では、ボルネオ（コタキナバル）、タンザニア（サファリとキリマンジャロ）、グランドキャニオン、カナディアンロッキーズ、チベットとネパール（エベレスト遠望）、シルクロード、あたりかな。文化遺産だと、エジプト、トルコ、インドの仏陀遺跡（菩提樹の葉を拾ってきた）、同じくスリランカ、マチュピチュ、兵馬俑（二回行った。將軍像の三分の一のレプリカが、我が家の守護神だ）、

チベット（二回も行った）、ネパール、アンコールワット、アユタヤ、仕事柄イギリスのマグナカルタ関連、アテネ、ローマ、ポンペイ、プラハ、モンサンミシエル、などなど。行きたいところはまだ沢山ある。イラクやパキスタンあたりにも行きたいが、今は一寸無理か。日本の世界遺産は将来のためにとつてある。

さてムシだが、かつては昆虫少年だった。受験が終わって大学に入った年の五月に久しぶりにムシ目的で長野の入笠山に行った。溪流沿いに歩き、憧れの高山蝶ミヤマツマキチョウ（それも雄と雌）に出会えたときは本当に嬉しかった。牧場に寝そべり青空を見ながら山小屋で買った生ぬるい缶の飲物を飲んだあの

解放感は忘れられない。その後、蘭にも一時熱中した。今は山野草が好きだ。庭園管理士とかいう怪しげな免状も貰った。ムシの方は、ムシの顔を接写レンズで大写しにして喜んだり、犬の散歩がてらご近所の柑橘類の木にアゲハチョウやクロアゲハの幼虫を見つけるとちよいと失敬してきて育てたりしている程度だからかわいもんだ。また雄と雌の成虫を数本のレモンの木があるビニールハウスに放したりしている。仕事の合間だからこの程度だが、ムシと花の世話は楽しい。教育的効果もある。孫娘はまだ幼稚園だが、幼虫の芋虫を「ミドリのムーシ」と呼んで、手の掌に乗せてカワイーと喜んでいて。将来、虫愛する姫君みたいになるといいが、さてどうなるか。